

科目名	情報処理演習P2/C2 ①	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	中田 豊久	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-2-410047	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	コンピュータを使用して情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術をC言語により学習する。情報処理演習C1の続きとして、関数、ポインタ、構造体、ファイル処理を使用したプログラミングの応用方法を学習する。これらを通して、情報社会で活躍するための知識を学びます。				
学修到達目標	C言語プログラミングに関する全般的な知識を理解し学習することにより、さまざまな問題の解析を行うことができ（演習10%・レポート10%・テスト15%）、プログラム作成やデバッグができるようになる（演習40%・レポート10%・テスト15%）。				
実務経験との関連性	民間企業におけるC言語の利用経験を活かした解説を行う。				

授業計画	
第1回	全般的なC1の復習
第2回	配列に関するC1の復習
第3回	関数使用の基礎

第4回	関数使用の応用
第5回	ポインタ使用の基礎
第6回	ポインタと配列の使用
第7回	ポインタと文字列の使用
第8回	ポインタと関数の使用
第9回	構造体使用の基礎
第10回	構造体使用の応用
第11回	ファイル処理使用の基礎
第12回	ファイル処理使用の応用
第13回	応用問題 1

第14回	応用問題2
第15回	まとめ、テスト
第16回	実施しない。

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	毎回、2時間、教科書を予習する。
【復習】時間・内容	毎回、2時間、演習内容を復習する。

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】定期試験30%、小テスト・授業内レポート20%、宿題・授業外レポート20%、授業態度・授業への参加30%で評価する。
フィードバック方法	各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックする。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ISBN: 978-4797327922 ・参考文献はその都度紹介する。
受講上の留意点等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報処理演習01を履修し、C言語の基礎について理解しておくことが望ましい。 2. 情報センター利用規則を守ること。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：C

科目名	情報処理演習P2/C2 ②	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	石井 忠夫	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-2-410047	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	コンピュータを使用して情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術をC言語により学習する。情報処理演習C1の続きとして、関数、ポインタ、構造体、ファイル処理を使用したプログラミングの応用方法を学習する。これらを通して、情報社会で活躍するための知識を学びます。				
学修到達目標	C言語プログラミングに関する全般的な知識を理解し学習することにより、さまざまな問題の解析を行うことができ（演習10%・レポート10%・テスト15%）、プログラム作成やデバッグができるようになる（演習40%・レポート10%・テスト15%）。				
実務経験との関連性	民間企業におけるC言語の利用経験を有する。				

授業計画	
第1回	全般的なC1の復習
第2回	配列に関するC1の復習
第3回	関数使用の基礎

第4回	関数使用の応用
第5回	ポインタ使用の基礎
第6回	ポインタと配列の使用
第7回	ポインタと文字列の使用
第8回	ポインタと関数の使用
第9回	構造体使用の基礎
第10回	構造体使用の応用
第11回	ファイル処理使用の基礎
第12回	ファイル処理使用の応用
第13回	応用問題 1

第14回	応用問題2
第15回	まとめ、テスト
第16回	実施しない。

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	毎回、2時間、教科書を予習する。
【復習】時間・内容	毎回、2時間、演習内容を復習する。

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】定期試験30%、小テスト・授業内レポート20%、宿題・授業外レポート20%、授業態度・授業への参加30%で評価する。
フィードバック方法	各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックする。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ISBN: 978-4797327922 ・参考文献はその都度紹介する。
受講上の留意点等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報処理演習C1を履修し、C言語の基礎について理解しておくことが望ましい。 2. 情報センター利用規則を守ること。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：C